



小林佳子税理士事務所
税理士 小林 佳子 様

・福岡県福岡市
・2019年3月 当協議会入会
・2021年8月 推進協議会アカデミー金融・財務コース入学

■ F+prusは使った者勝ち！固定概念を捨て去ろう！

Q F+prusを使った印象をお聞かせください。

F+prusは使えば使うほど新しい発見があるため、使った者勝ちだと思っています。

まず企業財務診断報告書や事業計画書を作成し、お客様にお見せするのが一番だと思います。

企業に企業財務診断報告書や決算レポートを見せると「決算後ではなく決算前に提案してもらっていたら、節税対策しなかった」というお声もありました。

財務支援が必要か不必要かを判断するのは私ではなく社長なので、まずは企業財務診断報告書や決算レポートをどんどんご提案することから始めていこうと思います。

■ 銀行紹介のための布石

Q なぜ金融機関から紹介がもらえるのですか？

まずは、銀行から補助金の紹介が来るようにと、これまでの当事務所の支援実績を1年間ずっとアピールしてきたからだと思っています。

そして年末に「事業再構築補助金」がいよいよ開始することになり、沢山ご紹介をいただきました。金融機関も金融庁に支援するように言われていたこともあったと思います。

更に、補助金だけでなく「財務・資金繰り支援」に関しても、当事務所でも対応ができることを伝えるために、協議会の「F+prus」を活用して「企業財務診断報告書」などのツールをアピール資料として金融機関金融に持参することもやっていました。

■ 企業財務診断報告書で収益化

Q 財務コンサルティングはいくらの報酬設定で提案されたのでしょうか？

企業財務診断報告書作成料として5万円、金融機関への決算報告の同席として3万円です。

税務顧問を依頼されてから初めての決算でしたが、決算数値があまりに良くなかったため、金融庁の形式基準を見える化することで、今後の事業計画として、ポストコロナ持続的発展計画を使い、補助金をいただいて計画を作成しよう、案内しました。

■ 視覚的にわかりやすく

Q 実際に企業に提案されていかがでしたか？

金融機関への決算報告に社長と同席した際、私が主体的に話すのではなく社長自身にお話しいただくのが重要だと思っています。

その意味で月次の監査報告で資金繰りの話をしていった際、企業財務診断報告書の「にこちゃんマーク」と財務格付のランクを見せると、社長が自身の資金繰り状況に唖然とされており、資金繰り状況を見える化することの重視性をひしひしと感じられました。

■ 借入金12本を4本にまとめる

Q ご利用されたサービス・とその感想を教えてください。

活用したのは資金繰りシミュレーション機能です。金融機関からの借り入れが12本ほどあったため、F+prusの資金繰りシミュレーション機能を利用して銀行に提示することで、借入金を4本にまとめることができました。

■ 事務所のアピールにつながった

Q 今後の展望や目標があればお聞かせください。

これまでは金融機関に対して財務支援の実績や取り組みをアピールすることができ、その結果、お客様にとっても事務所にとってもプラスだったと思っています。

今後は予実管理を行っていき、財務支援としての報酬をいただけるよう、しっかりサポートしていく予定です。